

我がクラブの目指すところ (IM第8組)

大阪平野RC 会長

三野久光

当クラブは4年前の35周年に、40周年に向けた活動指針として「未来に翔く若者に夢と希望を」掲げ、4年間やって参りました。特に、ラオス大学に奨学基金を設立し、学業を続けられない学生を支援してきました。

今年度は平成26年3月1日にグランフロント大阪にてIMを当クラブホストにて行いました。Live Talk on the Earth ということで、国際ボランティアとして活動中の学生諸君とスカイプで話をするという企画でした。若い学生諸君の嬉しい取り組みをうれしく思い

ました。

また来年度になりますが、本年10月10日～12日は秋のライラをホストクラブとして開催すべく、現在準備をしております。これらの活動は我クラブの5年間の上記活動指針に合致したのものとして、積極的に取り組んでおります。

そして来年2月に迎える我クラブの40周年記念式典の準備も併せて行っております。これらについても皆様のご協力をお願い申し上げます。

大阪イブニングRC 会長

松浦克巳

私どものクラブは現在会員が14名です。やりがいと家族のような団結力はありますが、1人の負担が多いのが現状です。もちろん会員増強は必須と考えています。早々に会員増としたいです。

現状としては各人がリーダーシップを発揮する少数精鋭でなければなりません。そのため社会奉仕、国際奉仕などでは姉妹クラブや友好クラブそして地域の方々に協力して頂いています。

米山奨学生の受入ではクラブ活性化につながる機会

を得られました。少数ながらもアイデアを生かした方法で奉仕活動を進める。活動の伝達でロータリーに関心を得られるよう、広報活動も活発に進めたいです。

ロータリークラブの会員だからこそ出来ることが沢山あります。そして活動によって沢山の方々と交流もてます。

今後もその活動を通してクラブ生活が楽しい、充実していると全員が実感するような魅力的なクラブを目指しています。

大阪城南RC 会長

永井正美

大阪城南ロータリークラブは今年5月30日、創立45周年を迎えます。

その節目の年度にあり会員の年齢層も70歳以上が半数近くを占め、60代が残りの過半数を占めるという高齢化、しかもパスト会長が17名を数える中で、如何に老・壮・青のバランスが取れるかをテーマに苦心致しました。その結果、会員歴は浅くとも元気の良い会員に要職に就いて頂きました。

世の中が混迷し激変する今時において、ロータリーだけが特別である訳もなく、変わらねばならない部分は大いに革新してレポリューションを目指したいと考えております。

その為には、何と云っても例会に参加することが楽しいと思える例会に、更には我がクラブが45年に亘って育んできた古き良き伝統を引き継ぎながら品位あるクラブを目指します。

大阪咲洲RC 会長

長元良二

大阪咲洲RCは、1995年10月11日に大阪住之江RC(現 帝塚山RC)がスポンサークラブのもと創立し、RI承認日は1995年10月31日です。今年で創立19年目を迎えることが出来ました。

創立時の会員数は33名、現在は、会員数18名のクラブです。第2660地区の中でも少人数のクラブですが、少人数クラブはクラブで良い所もたくさんあります。理事・役員等ほとんどすべての会員に役割が毎年もれなくあたります。それゆえ何事も全員参加・全員協力が基本です。しかしこれを達成するためには、日頃の例会が大切です。

ロータリー四つのテストのもと会員相互に好意と友情を持ち、品位と礼節を尊びユーモアに溢れている、そんな例会を積み重ねることによって一体感は生まれて

くるものだと思います。また、ロータリークラブを理解しお互い親近感をもって活動していくことが、しいては新会員の入会意思に大いに影響するものだと考えております。

少人数のメリットがあるとは言えやはりクラブ活動を無理なく・幅広く運営するには会員の増強が急務でございます。積極的に増強活動し、志を同じくする仲間をもっと増やさなければならないです。会員が多いほどより内容のある、幅広い奉仕活動等が実現できると考えております。

これからも多岐にわたり趣の違う例会や奉仕活動や親睦活動を企画し、会員の知人・友人の皆様に参加して頂き、クラブへの理解と親近感を深め入会したいクラブ作りを全員参加で目指していきたくと思います。

大阪天王寺RC 会長

谷野清孝

私の今年度の方針は「奉仕活動を実践し、みんなでつくる仲よしクラブ」であります。4年前、我がロータリークラブは、大阪阪南ロータリークラブと旧大阪天王寺ロータリークラブが合併し出来たクラブであります。

合併時、雰囲気・性質の違うクラブの会員がうまく交わるかという心配をよそに、さすがロータリーという名のもと、会員全員が奉仕活動に積極的に参加し、協力し合っていたことに安堵致しました。しかし、もっと充実した活動を行うに当たっては、今までのように例会に出

席し、挨拶と卓話を聞いて帰るというだけでは前進しないと考えます。会員が楽しいクラブライフだと認識することにより新入会員の増強にもつながると思います。

そのため、親睦活動(家族会、炉辺会合、夜間例会、そして囲碁・ゴルフ同好会)を重点に取り組み、会員相互の和を図ることにより充実したクラブ活動が着々と出来るのではないかと感じています。末期も仲よしクラブ員全員とタッグを組んで奉仕活動に向かって進んでいきたいと思っています。

大阪帝塚山RC 会長

片山一步

当クラブは2011年5月20日に、大阪阿倍野、大阪住之江、大阪住吉の3つのクラブが合併したクラブで、今年度で3年目です。3つのクラブが合併したのは異例で、その動向は注目されているのではないかと思います。

合併に際して「クラブのこれまでの文化の違いでうまくいかないのでは？」とか「人数が大幅に減少するのでは？」などと懸念されていました。

しかし、会員一人当たりの「会費」負担や「活動」負担が増えることから「辞めないで」という危機せまる退会防止から開放され、楽しいクラブライフとなりました。

また、会員増強についても「会員数減少でつぶれそうなので、なんとかクラブに入って」といっても誰も入会しないものです。「いつでもロータリーに入れる」という

ロータリーブランドの安売りもなくすべきです。楽しいクラブであれば、自然と増強できるものと信じております。

親睦から奉仕がうまれるという観点から、本年度は活動方針の基本は、FUN! FUN! FUN!と、ロータリーを楽しむという親睦に重点を入れてまいりました。

次年度には、当クラブの泉博朗会員を地区ガバナーとして輩出することから、本年度はその準備もあり、特別なイベントを計画してまいりませんでした。その分、次年度の地区活動において、クラブあげて頑張りたいと思います。

何事も抜本的に見直して、自己改革のできるクラブとなるよう目指してまいります。

大阪東南RC 会長

杉浦勝昭

大阪東南ロータリークラブの会長となって今更ながらに気がついたことは、ロータリークラブはそれぞれが独立した存在であるということ、自立した存在であるということです。

それぞれのクラブが独自の歴史を持ち独特の個性を持っていること、構成員の人数や年齢や性格によってまったく異なったやり方・雰囲気で運営されているということ、自立して自律してやっていかなければならない、誰も手助けしてくれないし誰も我がクラブに最適なアドバイスは行うことができないという当たり前と言えれば当たり前のことを強く了解できました。

その点から言えば、大阪東南ロータリークラブは現在楽しくまたスムーズに運営されています。会員数が50人くらいで、少な過ぎもせず多すぎもせず、雰囲気や活動状況においても中の上といったレベルではないでしょうか。

今年のテーマとしては「輪」(ネットワーク)を広げるということから会員増強に重点をおいています。まずクラブを知ってもらうことから「ゲストデイ」で外部の知り合いを例会に招待するを行いました。「和」を深めるといった観点からは元会員に声をかけ再入会も視野に入れて交流を図ろうとしています。会員増強はおそらく永遠のテーマでありまた時間のかかる活動であるので今年一年で終わるのではなく毎年繰り返しやっていかねばならないことでしょう。できれば60から70くらいの会員数が適正規模ではないかと考えている。お互いが親しくなれ、例会出席率が60-70%でも例会場が賑やかで楽しく運営できるのではないかと考えるからです。

2015年11月26日に30周年を迎えることになりましたが、会長エレクト、会長ノミニーを中心に30周年を楽しく迎えるための準備を始めています。

大阪アーバンRC 会長

寺内俊太郎

当クラブは、2011年12月8日に創立総会を開催し、12月末に認証を受けました。その後2012年2月6日に加盟認証伝達式を関係各位のご指導下、ホテルグランビア大阪で開催しました。

当クラブの設立主旨は、2011-12年度のカルヤンR I 会長の強調事項「変化」についての次の言葉が根本となっています。

- 1.ロータリーの核心は変化です、もし現状に満足してるなら、何故ロータリアンになる必要があるのでしょうか？
- 2.自分自身の中に変化をおこし、自分自身がその変化の担い手とならなければなりません。

この強調事項が当時第2660地区のR I 理事 近藤雅臣氏、岡部泰鑑ガバナー、特別代表顧問 横山守雄バストガバナー各位の強力なご意志と御決断で、第2660地区に久方振りに新しいRCが誕生することになりました。

これらの設立目的・主旨を背景に新しい会員28名の選定と活動目標を具現化し、活動を開始しました。

その活動目標は「クラブ設立に伴う5つの基本方針」として、以下に掲げる項目であります。

- 1.親クラブを持たない、スポンサークラブが付かないで当面はガバナー直轄のクラブとする。
- 2.会員の経済的負担を既存市内クラブの1/3程度に下げる。
- 3.会員の業務に時間的な負担を少なくするためにモーニング例会とする。
- 4.クラブ運営と活動は会員主体で行い、事務局を置かない。
- 5.会員間のコンセンサスは電子メールで緊密な連絡を保ち、親睦を深め、クラブ活動を推進する。

これらの経緯を基本とし、今年で3年目を迎える生まれ経ての新米クラブであります。

今後2~3年間はまだまだ先輩RCの活動のお荷物になると思われませんが、今後も変わらずに、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

大阪みおつくしRC 会長

中島 武

当クラブは昨年4月16日に国際ロータリーより認証をうけて、まだほやほやの1年生です。

創立当初は私以外ロータリー経験なしの会員のため、毎週の例会はとにかく回数をこなせばどうにかなるという現状でした。

現在、29名中60歳以上は7名で、あとの22名は30~50代という若さで現役バリバリのビジネス中心の女性会員が多いのが特徴です。会員増強も今年に入り毎月

1名新入会員を迎えていますので5月、6月で2名を予定しています。

クラブ方針は親睦を重点として何事も全員で行動するようにしていますので、親睦をはかれば自然と奉仕につながると思います。

沢山の先輩クラブに学ぶことは多々ありますが、焦らずにコツコツと確実にロータリーを実践し進んでいくよう努力してまいります。